

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (2) 地域活性化総合特区 ⑥ まちづくり等分野(1/6)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区(静岡県)	正	4.4	4.7 <u>進捗度</u> ・防災・減災機能の充実・強化 68% ・地域資源を活用した新しい産業の創出・集積 127% ・新しいライフスタイルの実現の場の創出 142% ・暮らしを支える基盤の整備 96%	4.4 <u>規制の特例等</u> ・土地利用規制に関する国との一括事前協議制度の創設 等 <u>財政支援等</u> ・地域活性化総合特区支援利子補給金 4件 等 <u>地域独自の取組</u> ・緊急地震・津波対策交付金 等	4.3	<ul style="list-style-type: none"> ・特区事業全般について順調に進捗しており、県独自の推進制度の創設、規制緩和や条例制定、支援体制強化等の地域独自の支援措置の充実、多面的な取組の効果が県内各地に拡大している点が評価できる。 ・津波対策施設の整備は計画通り進んでいないが、景観・産業との利益衡量や住民同意取り付けの難しさに主な原因があり、取組の方向性に問題があるとは言えない。 ・駿河湾港湾取扱貨物量の増加については、他港湾との比較優位をもっと打ち出す必要があり、関係各所との連携や対応を行い、今後の発展を期待したい。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。